## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

06-216298

(43) Date of publication of application: 05.08.1994

(51)Int.CI.

H01L 23/50 // H05K 1/18

(21)Application number: 05-008261

(71)Applicant: TOPPAN PRINTING CO LTD

(22)Date of filing: 21.01.1993 (72)Inver

(72)Inventor: TSUKAMOTO TAKETO

TOKI SOTARO

## (54) LEADFRAME, AND MANUFACTURE THEREOF

### (57)Abstract:

PURPOSE: To provide a leadframe and a manufacturing method thereof, in which a terminal is soldered with high reliability without causing a short-circuit between the terminal and adjacent terminals even when a pitch between outer leads is extremely narrow.

CONSTITUTION: In a leadframe, a groove 2 is formed in the surface of an outer lead 6a which comes into contact with a terminal section 8 of a printed wiring board 9, and a solder section 3 is provided in the groove 2. In such a leadframe, the groove 2 is subjected to a surface treatment 1 having a superior solderability such as palladium plating.







## **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

20.12.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

rejection]
[Kind of final diamond of application others to

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

3275413

[Date of registration]

08.02.2002

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

# (12) 公開特許公報(A)

FΙ

(11)特許出願公開番号

特開平6-216298

(43)公開日 平成6年(1994)8月5日

(51)Int.Cl.5

識別記号

庁内整理番号

技術表示箇所

H01L 23/50

N 9272-4M

A 9272-4M

E 9272-4M

# H 0 5 K 1/18

H 7128-4E

審査請求 未請求 請求項の数3 OL (全 5 頁)

(21)出願番号

(22)出願日

特顯平5-8261

平成5年(1993)1月21日

(71)出願人 000003193

凸版印刷株式会社

東京都台東区台東1丁目5番1号

(72)発明者 塚本 健人

東京都台東区台東一丁目5番1号 凸版印

刷株式会社内

(72)発明者 土岐 荘太郎

東京都台東区台東一丁目5番1号 凸版印

刷株式会社内

(54)【発明の名称】 リードフレームおよびその製造方法

#### (57)【要約】

【目的】アウターリードビッチが非常に狭小でも、端子部に、隣接する端子との短絡を起こさずに、高信頼性をもって、はんだ付けを行うためのリードフレームとその製造方法を提供することを目的とする。

【構成】アウターリード部6aにおける、プリント配線板9の端子部8と接する面に溝部2が形成され、前記溝部2にはんだ部3が設けているリードフレームにおいて、前記溝部9にはんだ濡れ性の良好な表面処理1、た

とえばパラジウムめっきを施す。



1

#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】表面実装型のリードフレームのアウターリード部の実装面の実装部分に溝部が形成され、前記溝部にはんだ部を設けてあるリードフレームにおいて、前記溝部のはんだとの界面に、はんだ濡れ性の良好な表面処理層を施してあることを特徴とするリードフレーム。

【請求項2】はんだ濡れ性の良好な表面処理がパラジウムめっきである請求項1に記載のリードフレーム。

【請求項3】金属板の両面にフォトレジストで所望のバ 10 ターンを形成し、エッチングによってリードフレームを 製造する際、溝部を片面エッチングにより形成させ、そ の後、フォトレジストが付いた状態で表面処理を行い、 その後、はんだ部を設けることにより、

表面実装型のリードフレームのアウターリード部の実装面の実装部分に溝部が形成され、前記溝部にはんだ部を設けてあるリードフレームの前記溝部のはんだとの界面に、はんだ濡れ性の良好な表面処理層を施してあるリードフレームを製造することを特徴とするリードフレームの製造方法。

#### 【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は半導体集積回路を実装するリードフレーム、特に、ピン数の多いリードフレームやアウターリードピッチの狭いリードフレームの構造に関する。

[0002]

【従来の技術】従来のリードフレームは、42合金(Ni42重量%、Fe残)に代表される鉄系合金やリン青銅に代表される銅合金などの金属板をプレス法、すなわ 30 ち、所望のパターンを有する金型でプレス加工するか、あるいは、エッチング法、すなわち、上記金属板上にフォトレジストをコーティングし、所望のパターンを有するフォトマスクを用いて、露光、現像を行い、フォトレジスト膜をパターン化した後、塩化第二鉄液等のエッチング液にて、腐食させ、フォトレジスト膜を除去することにより製造していた。

【0003】さらに、このリードフレームを用いて半導体集積回路をパッケージングする。封止材料としてはセラミックやプラスチック材料が使用されている。このパ 40ッケージをプリント配線基板に実装するには、そのアウターリード部をプリント配線基板のリード挿入用の孔に差し込んではんだ付けを行うか、あるいは、プリント配線基板上の端子部上に載せてはんだ付けしていた。

【0004】近年、これら半導体集積回路が用いられている電子機器では、小型化、高性能化がますます要求されるようになり、半導体集積回路の多電極化に伴うリードフレームの多ピン化やブリント回路基板上への高密度実装のためのバッケージの小型化が進むようになってきた。このため、インナーリードおよびアウターリードの50

ビッチがますます狭くなってきた。狭ビッチ化されたアウターリードをプリント回路基板と接続させるには、リード挿入タイプでは非常に困難となり、表面実装タイプが主流となりつつある。この表面実装方式というのは、あらかじめ、プリント回路基板上の端子部にスクリーン印刷等ではんだペーストを印刷し、その上にパッケージのアウターリードを設置した後、加熱炉中をプリント回路基板を通し、はんだを加熱溶融させて接続させるものである。

【0005】しかしながら、アウタリードのピッチが狭くなるにつれて、加熱溶融時にはんだの端子外への流出が原因で、隣の端子と短絡するといった問題点が発生する。

【0006】とのような問題点に対し、特開平4-144263号公報では、アウターリード部に溝部を形成し、その溝部にはんだ部を形成することで余分なはんだによる隣接したプリント回路基板等の表面上の端子間の短絡を防止したリードフレームおよびその製造方法を提案している。

20 [0007]

【発明が解決しようとする課題】前述の特開平4-144263号公報にて提案されたリードフレームはプリント回路基板等の被実装体の実装部分上の端子間の短絡を防止する上で非常に有効ではあるが、溝部内部のはんだに対する濡れ性が悪いために、図4に示すように、一部の溝部ではその内部に空気層が形成され、それによるはんだのはみ出しが発生し、短絡を招くことがある。

[0008]

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために請求項1では、表面実装型のリードフレームのアウターリード部の実装面の実装部分に溝部が形成され、前記溝部にはんだ部を設けてあるリードフレームにおいて、前記溝部のはんだとの界面に、はんだ濡れ性の良好な表面処理層を施してあることを特徴とするリードフレームを提供する。

【0009】また請求項2では、はんだ濡れ性の良好な 表面処理がパラジウムめっきである請求項1に記載のリ ードフレームを提供する。

【0010】また請求項3では、金属板の両面にフォトレジストで所望のバターンを形成し、エッチングによってリードフレームを製造する際、溝部を片面エッチングにより形成させ、その後、フォトレジストが付いた状態で表面処理を行い、その後、はんだ部を設けることにより、表面実装型のリードフレームのアウターリード部の実装面の実装部分に溝部が形成され、前記溝部にはんだ部を設けてあるリードフレームの前記溝部のはんだとの界面に、はんだ濡れ性の良好な表面処理層を施してあるリードフレームを製造することを特徴とするリードフレームの製造方法を提供する。

D 【0011】この場合リードフレームは、アイランド

部、外枠部、および、リード部からなるタイプの他、ア イランドレスタイプ、アウターリードのみ金属板のチッ プオンボードタイプ等でもよい。

【0012】また、半導体集積回路バッケージを実装す るのは、必ずしもプリント回路基板上に表面実装すると は限らず、ガラス基板等種々な表面実装タイプに用いる ことができる。

【0013】また、その後のはんだ部を形成する方法 は、めっき、侵潰、印刷など各種の方法を用いる事がで きる。そのとき、フォトレジストを形成したままこれら 10 の処理を行っても良い。

#### [0014]

【作用】本発明におけるリードフレームを用いて、集積 回路のパッケージングを行い、被実装体の実装部分であ る端子部に載せ、はんだ部を加熱溶融させると、溝部の 内部に施した表面処理の濡れ性の良さのために、溶解し たはんだが非常にスムーズに溝部内部に埋まり、余分な はんだを端子エリア外から流出することを防ぐ。これに よって、狭ピッチ化された端子部8同士の短絡を防ぐこ とができる。

【0015】溝部の形成方法は、エッチング法で通常の リードフレームを製造する工程がそのまま適用でき、溝 部に相当する部分にフォトレジストの開口部を設けるよ うに設計しておけばよい。

【0016】溝部内部に施す表面処理ははんだの濡れ性 の良いものであれば金めっき等の各種めっきを選んでも 良いが、バッケージ組立工程における耐熱性等を考える とパラジウムめっきが適している。めっき方法として は、エッチング終了後、フォトレジストを付けた状態で 行う。被エッチング加工物の側面のみめっきされること 30 になるので高価なパラジウムの使用量も少量で済む。エ ッチング後、フォトレジストを剥離してから、全面めっ き、あるいは、パッケージを組み立てた後にアウターリ ードにめっきを施した場合では、溝部以外のアウターリ ード部にもめっきされているため、溝部以外へのはんだ のまわりが多く、効果が小さくなる。

#### [0017]

【実施例】以下、図面を参照して、本発明におけるリー ドフレームならびにその製造方法について説明する。 【0018】図1は本発明にもとづくリードフレームを 40 示す上面図である。また、図2は本発明にもとづくリー ドフレームを用いた表面実装タイプのパッケージ7を下 から見た図である。本リードフレームはアイランド部 4、外枠部5、リード部6からなり、アウターリード部 6 a の、パッケージ7 に組み込んだ際にプリント配線基 板9上の端子部8と接する部分に表面処理部ならびには んだ部3が形成されている。さらに、本発明にもとづく リードフレームの詳細について図5を用いて説明する。 図5はアウターリード部6aの断面図を示す。アウター

接する面に溝部2が形成され、その溝部2の内部に本発 明の特徴とする濡れ性の良好な表面処理1を施し、その 上に、はんだ部1を設けてある。

【0019】本発明に関するリードフレームの製造方法 についての実施例を、アウターリード部の断面図、図7 から図11によって説明する。

【0020】金属板10として、42合金(42重量% Ni、Fe残)を用い、その両面に東京応化工業株式会 社製のネガ型フォトレジスト11PMER (商品名)を 浸積塗布し(図7参照)、所望のパターンを有するマス クを用いて、露光、現像を行い、フォトレジストのパタ ーンを形成した(図8参照)。この際、溝部2となるべ き部分のフォトレジスト11が除去されるように、あら かじめ、マスクのパターンを設計しておく。

【0021】その後、塩化第2鉄液を用い、両面からエ ッチングを行い、リードフレームを形成した(図9参 照)。

【0022】次に、日本エレクトロプレーティング・エ ンジニヤース株式会社製パラジウムめっき液、パラデッ 20 クス110 (商品名) を用い、2A/dm<sup>2</sup> にて5分間 めっきを行った(図10参照)。得られたバラジウム膜 1の厚さはおよそ2μmであった。

【0023】最後にフォトレジスト11を除去し、イン ナーリード先端部に通常行われる銀めっきを施し、目的 としたリードフレームを製造した(図11参照)。

【0024】図6は本発明に関するリードフレームを用 いて表面実装型のパッケージ7をプリント回路基板9上 にはんだ付けしたときの断面図である。

【0025】プリント回路基板9上の端子部8上に本発 明に関するリードフレームを用いた表面実装型のバッケ ージ7を載せ、最高温度240℃にてIRリフロー装置 にプリント回路基板9を通した。その結果、すべてのア ウターリード6aがプリント回路基板9上の端子部8 と、隣接する端子部との短絡せずに接続された。 [0026]

【発明の効果】上述したように、本発明に係わるリード フレームにより、このリードフレームを用いたパッケー ジを被実装体にはんだ付けする際、アウターリードのピ ッチが非常に狭いパッケージにおいても、余分なはんだ の流出により隣接する端子同士が短絡することなく容易 に接続することができる。

【0027】また、本発明に関するリードフレームの製 造方法としては、通常のエッチングによる工程がそのま ま適用できる。すなわち、金属板の両面にフォトレジス トで所望のパターンを形成し、エッチング液によってリ ードフレームを製造する方法である。フォトレジストで 所望のパターンを形成する際、同時に溝部に相当する部 分のフォトレジストを除去するように設計しておけばよ い。さらに、はんだ濡れ性の良いめっき皮膜を溝部内部 リード部6aにおける、プリント配線板9の端子部8と 50 のみに設けるのは、エッチング後、フォトレジストがつ 5

いた状態で行うので非常に容易にできる。このめっき皮膜は、パッケージ組立時の耐熱性を考慮するとパラジウムめっきが良好である。パラジウムは高価な金属ではあるが、本リードフレームの側面にしか皮膜が形成しないため、めっき量は極めて少なく、コストの面においても利点がある。

【0028】したがって、本発明はアウターリードビッチが非常に狭い半導体集積回路パッケージを被実装体に対し、高信頼性をもって、はんだ付けを可能にするリードフレームならびにその製造方法を提供することができ 10 る。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に関するリードフレームの平面図である。

【図2】本発明に関するリードフレームを用いた表面実 装タイプのバッケージの底面図である。

【図3】従来技術のリードフレームのアウターリード部の断面図である。

【図4】従来技術のリードフレームを用いたバッケージをプリント回路基板上の端子部にはんだ付けした状態の 20 一例を示すアウターリード部の断面図である。

【図5】本発明に関するリードフレームのアウターリー ド部の断面図である。

【図6】本発明に関するリードフレームを用いたバッケージをプリント回路基板上の端子部にはんだ付けした状態を示すアウターリード部の断面図である。

【図7】本発明に関するリードフレームの製造方法を示す断面図で、アウターリード部に相当する部分の金属板の両面にフォトレジストを塗布した断面図である。

\* 【図8】本発明に関するリードフレームの製造方法を示す断面図で、アウターリード部に相当する部分の金属板の両面にフォトレジストのパターンを形成した断面図である。

【図9】本発明に関するリードフレームの製造方法のうち、エッチングが終了したときのアウターリード部の断面図である。

【図10】本発明に関するリードフレームの製造方法のうち、はんだ濡れ性の良好なめっきを施したときのアウターリード部の断面図である。

【図11】本発明のリードフレームのアウターリード部 の完成断面図である。

#### 【符号の説明】

1 はんだ濡れ性の良好な表面処理あるいはめっき 皮膜

- 2 溝部
- 3 はんだ部
- 4 アイランド部
- 5 外枠部
- 20 6 リード部
  - 6a アウターリード部
  - 6 b インナーリード部
  - 7 半導体集積回路パッケージ
  - 8 端子部

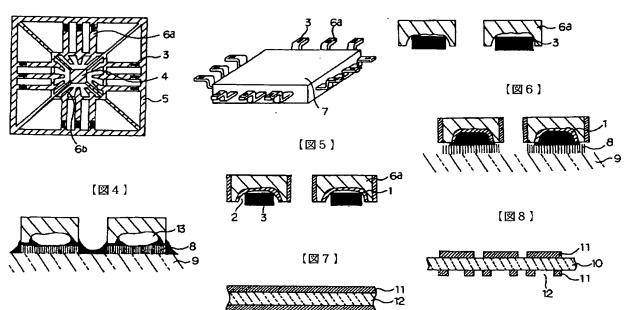
1.3

- 9 プリント回路基板
- 10 金属板
- 11 フォトレジスト
- 12 溝部に対応するフォトレジストの開口部
  - 溝部の内部に発生する空気層

【図1】

【図2】

【図3】



【図9】

[図10]

[図11]

